

【学校教育目標】
～明るい未来を拓く～
社会に自立する生徒の育成
【校訓】 力強く 心豊かに たゆみなく

上篠路

学校HP <https://www16.sapporo-c.ed.jp/kamishinoro-j/>

発行者：校長 山崎 武司

自分を測る物差し（1学期始業式より）

校長 山崎 武司

皆さん、進級おめでとうございます。新しい学年、新しい教室。皆さんの表情から、今年一年への意欲が伝わってきます。さて、いよいよ明日、この上篠路中学校に八十二名の新入生を迎えます。

私は明日の入学式で、新入生に、ある「問いかけ」をしようと思っています。今日は先輩となる皆さんに、一足早くその話をします。

皆さんは、アンデルセンの童話『みにくいアヒルの子』を知っていますか。周りのアヒル達と姿が違うというだけで、ひどくいじめられ、蔑まれた主人公の物語です。アヒルたちは「自分たちと形が違う、声が違う」という、自分たちの狭い「アヒルの物差し」だけで彼を判断し、自分たちの優越感を確かめようとしてしました。誰かを「下の存在」として蔑むことで、自分の立ち位置が安全であることを確認しようとしたのです。偽りの優越感は、自己肯定感の低い、自信のない心を一時的に麻痺させるからです。しかし、物語の結末で分かるとおり、彼は「みにくいアヒル」ではなく、実は「美しい白鳥」でした。

私は新入生にこう伝えます。「もし誰かをバカにしたり、見下したりしたくなったら、それは皆さんの心が、自信を失いかけているサインかもしれません」と。

人を蔑むことで得られる一時的な安心感は、本当の自信ではありません。それは自分の価値を自分だけでは決められない、心の弱さの裏返しなのです。

2年生、3年生の皆さん。皆さんはもう、この学校での経験を積み重ねてきました。誰かを下げるために比較する物差しではなく、「自分をどこまで高められるか」という自分自身を測る物差しを持っていますか？

「勉強に打ち込む姿」

「部活動で汗を流す姿」

「誰に言われるでもなく、そっとゴミを拾う姿」

そうした「自分の良さ」を自分で認められる人は、他人の「違い」も「良さ」として尊重できるはずです。

明日入学する新入生は、期待と同時に大きな不安を抱えています。彼らが「アヒルの物差し」で測られることなく、安心して自分の翼を広げられる。そんな温かな上篠路中学校を、まずは先輩である皆さんが作ってほしいのです。

皆さんが、この一年で自分だけの「自信の根っこ」をさらに深く張り、素晴らしい成長を遂げることを期待しています。

新たに着任された教職員をご紹介します

教育委員会より参りました、河合博子（かわあい ひろこ）と申します。みなさんとの毎日をととても楽しみにしております。誰もが安心して過ごすことができる学校づくりを目指したいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。
(河合 博子教頭先生)

北区の北陽中学校から参りました、桑原直人（くわばら なおと）です。国語科を担当します。お子さんが安全で安心できる豊かな中学校生活を送ることができるように努めます。よろしくお願ひいたします。
(桑原 直人先生 国語科)

国語科を担当いたします、岡本華凜（おかもと かりん）です。今年度より教員としての一步を踏み出した新任ではありますが、生徒一人ひとりの成長に寄り添い、ともに学び、成長していきたいと考えております。これからどうぞよろしくお願ひいたします。
(岡本 華凜先生 国語科)

手稲区の稲積中学校から参りました、澤田祥一（さわだ しょういち）と申します。今まで勤務した学校の中では一番規模が小さな学校ですが、その分一人一人との距離が近いのかなと思っています。皆さんとの新しい学校生活を楽しみにしています。また、今年度進路を担当することになりました。どうぞよろしくお願ひいたします。
(澤田 祥一先生 社会科)

東区の明園中学校より参りました、芳賀大二郎（はが だいじろう）と申します。教科は理科を担当します。中学校3年間という限りある時間の中で、生徒のみなさんがより多くのことを学べるようにサポートしていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。
(芳賀 大二郎先生 理科)

平岡緑中学校から参りました松浦勝美（まつうら かつみ）と申します。教科は技術・家庭の担当として半年間の予定でお世話になります。生徒のみなさんと一緒に楽しい授業ができればと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。
(松浦 勝美先生 技術・家庭科)

北区の屯田北中学校から参りました、大久保真澄（おおくぼ ますみ）と申します。これから皆さんと過ごす日々を楽しみにしています。生徒の皆さんや保護者の皆様と仲間を思いやる居心地の良い学年、学級となるように精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。
(大久保 真澄先生 5組)


あいの里東中から参りました、教頭マネジメント支援員の下山敏晴（しもやま としはる）です。新任の教頭先生をサポートする仕事ですが、学校の役に立つことを何でもやりたいと思っています。1年間よろしくお願ひいたします。
(下山 敏晴先生 マネジメント支援員)

網走市立網走小学校から参りました、養護教諭の山口美月（やまぐち みづき）と申します。心身ともに変化の大きい中学生という時期に、皆さんが自分らしく、健やかな毎日を過ごせるよう全力でサポートしていきます。どうぞ、よろしくお願ひいたします。
(山口 美月先生 養護教諭)

東区の明園中学校から参りました、佐々木 里香（ささき りか）と申します。北区での勤務は初めてです。北区産野菜なども取り入れながら、おいしい給食づくりを目指します。どうぞよろしくお願ひいたします。
(佐々木 里香先生 栄養教諭)

4月より校務助手として着任いたしました、平野 祐香（ひらの ゆか）と申します。この度ご縁があり上篠路中で働かせていただけることになりました。小学生の頃この地域に住んでいたこともあり（百合が原公園でよく友達と遊んでいました）、このご縁を心より嬉しく思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。
(平野 祐香さん 校務助手)

同じ北区の新琴似南小学校から参りました学校用務員の佐々木海史（ささき かいと）と申します。中学校での勤務は5年前のコロナ禍以来であり、わからないことだらけではありますが、学校のこと、子どもたちのことを少しずつ学んでいき、支えられるよう務めて参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。
(佐々木 海史さん 用務員)

編集後記 

春は志を新たにす季節です。やわらかな日差しの中で、新しい環境に一步を踏み出す子どもたちは、それぞれに期待と不安を胸に抱えています。その一步一歩が確かな成長へとつながるよう、日々の小さな努力や挑戦を大切に見守り、支えていきたいと考えています。新たな1年が子どもたちにとって実り多く、心豊かなものとなることを願っております。本年度もどうぞよろしくお願ひいたします。(教務係)